

バージョン4.0



FLKEY^{MINI}

ユーザーガイド

Contents

| | |
|-----------------------------|----|
| はじめに | 4 |
| 主な特徴 | 5 |
| 同梱物 | 5 |
| 使用を開始する | 6 |
| FLkey をコンピュータに接続する | 6 |
| イーリースタート | 6 |
| FLkey をアップデートする | 7 |
| サポート | 7 |
| 各部の名称と概説 | 8 |
| FL Studio との連携 | 10 |
| インストール | 10 |
| 手動による設定 | 10 |
| トランスポートコントロール | 11 |
| プリセットのナビゲーション | 12 |
| 外部機器との接続 | 12 |
| MIDI 出力を外部 MIDI 機器に接続 | 12 |
| サステイン入力 | 12 |
| パッドモード | 13 |
| Channel Rack | 14 |
| Instrument パッドモード | 15 |
| FPC | 16 |
| Slicex | 16 |
| Fruity Slicer | 16 |
| デフォルトのインストゥルメントレイアウト | 16 |
| Sequencer | 17 |
| Channel Rack グラフエディター | 18 |
| カスタムパッドモード | 18 |
| ノブモード | 19 |
| バンクの切り替え | 19 |
| Plugin | 20 |
| Mixer Volume | 20 |
| Mixer Pan | 21 |
| Custom | 21 |

| | |
|------------------------------|----|
| Channel Rackの選択項目の確認..... | 22 |
| ループ録音（初回起動時）..... | 22 |
| FL Studio ウィンドウのフォーカス表示..... | 23 |
| ノートリピート..... | 24 |
| Note Repeat を使用する..... | 24 |
| レートを変更する..... | 24 |
| テンポを設定する..... | 25 |
| ノート/ドラムヒットのペロシティを変更する..... | 25 |
| スタンドアローン機能..... | 26 |
| トランスポーズ..... | 26 |
| Octave ボタン..... | 27 |
| Scale モード..... | 28 |
| Shift ボタン..... | 30 |
| ページのラッチ..... | 31 |
| コントロールページ..... | 31 |
| Transpose のコントロール..... | 31 |
| Shift のコントロール..... | 31 |
| カスタムモードおよび Components..... | 32 |
| カスタムモード..... | 32 |
| ノブ..... | 32 |
| パッド..... | 32 |
| 設定..... | 33 |
| パッドのペロシティ..... | 33 |
| MIDI クロック出力..... | 33 |
| ベガスモード..... | 33 |
| イージースタート..... | 34 |
| 重量および寸法..... | 34 |
| トラブルシューティング..... | 34 |

はじめに

Novation FLkeyシリーズは、FL Studioで音楽制作ができるMIDIキーボードです。FL Studioの主要な機能のハンズオンコントロールと高品質鍵盤を備え、快適に音楽制作が行えます。

本ユーザーガイドでは、FLkey Miniを使用するために必要なすべての情報を学ぶことができます。FL Studioでのデバイス設定やスクリプト機能のセットアップ方法のほか、スタンドアローン機能の活用方法なども網羅されており、音楽制作をできるだけ早く簡単に始められるようサポートいたします。

FL Studioに特化したFLkeyを使えば、気持ち良く音楽制作に集中できます。FL Studioのステップシーケンサーと連動するパッドでビートをすばやく構築でき、4つのパッドモードで感情がこもったリズムを作成できます。Channel RackやFPCを直接演奏したり、SlicexやFruity Slicerでスライスをトリガーできます。ノートリピートを使えばグリッドに完璧にマッチしたビートを簡単に作成可能です。

FLkey Miniでは、コンピューターの画面を見ることなくFL StudioのMixerを直感的にコントロールできます。ノブを操作しミックスの調整やオートメーションの記録を素早く実行可能です。またImage Lineプラグインのプリセットを本体の画面でブラウズし、マウスを使わずにインストゥルメントやサウンドを素早く切り替えることができます。

Scaleモードを始めとするインスピレーションを刺激するツールを使えば、音を外すことなくクリエイティブな作業に集中できます。創造力が高まり、新しいアイデアが浮かびやすくなります。

FLkey MIDIキーボードには、高品質なインストゥルメントやエフェクトプラグインが多数バンドルされるほか、Novation Sound Collectiveのメンバーシップも付帯します。これらのプラグインをFL Studioで使用することで、好きな時に好きな場所で音楽制作が可能です。

主な特徴

- ・ **FL Studioとのシームレスな連携**：FL Studioの主要な機能に素早くアクセスでき、簡単に音楽制作を行います。
- ・ **Mixerおよびプラグインのコントロール**：ボリュームやパンの調整、Image-Lineプラグインのコントロール、8つのロータリーノブによるを用いたオートメーションを用いた自然なサウンド作成などが可能です。
- ・ **ステップシーケンサー**：FL Studioのステップシーケンサーをコントロールし、簡単にドラムを打ち込むことができます。
- ・ **Channel Rackの演奏**：パッドでChannel Rackを直接演奏できます。
- ・ **インストゥルメントをコントロール**：パッドでFPCやSliceXを操作でき、表現力豊かなビートやメロディーの作成が可能です。
- ・ **クリエイティブな演奏**：音を外すことなく演奏できるScaleモード。
- ・ **エクスペッション**：25鍵ベロシティセンシティブキーボードおよび16のベロシティセンシティブRGBパッド。
- ・ **プリセットのブラウズ**：FLkey Miniから、Image Lineプラグインのお気に入りのプリセットに直接アクセスできます。
- ・ **カスタムモード**：FLkey Miniのパッドやノブに操作を割り当て、ワークフローをカスタマイズできます。

同梱物

- ・ FLkey Mini
- ・ USB Type-A - Type-Bケーブル (1.5メートル)
- ・ 安全上の注意

使用を開始する

FLkey をコンピュータに接続する

FLkey は、USB バスパワーで動作します。USB ケーブルでコンピュータに接続すると、本体の電源がオンになります。

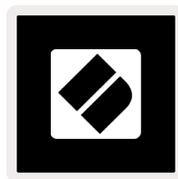


イージースタート

イージースタートツールは、FLkey を手順に沿ってセットアップできるオンラインツールです。製品登録やバンドルソフトウェアのダウンロードなども行えます。

Windows または Mac に FLkey を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置 (MSD) として表示されます。ドライブを開き、「FLkey - Getting Started.html」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、イージースタートツールがウェブブラウザで開かれます。

画面の指示に従い必要なソフトウェアをインストールし、FLkey を使用する準備を行います。



イージースタートツールを使用せず、Novation ウェブサイトで FLkey を登録することでも、バンドルソフトウェアのダウンロードが可能です。

customer.novationmusic.com/register

FLkeyをアップデートする

FLkeyのファームウェアは、Novation Componentsからアップデートできます。ファームウェアバージョンの確認とアップデートは、以下の手順で行います：

1. components.novationmusic.com にアクセスします。
2. FLkey Mini をクリックします。
3. ページ上部の Updates タブ をクリックします。
4. 画面の指示に従いファームウェアのバージョン確認を行います。アップデートが必要な場合は、アップデート方法が表示されます。

サポート

詳細やサポートについては Novation ヘルプセンターをご覧ください。

[Support.novationmusic.com](https://support.novationmusic.com)

各部の名称と概説

- 1 Pitch** - タッチストリップで、演奏中のノートのピッチを変化させます。
- 2 Modulation** - FL Studioのパラメータをマッピングできるタッチストリップです。
- 3 Shift ボタン** - 二次的なシフト機能を有効にします。利用可能なシフト機能は、フロントパネルに灰色のテキストラベルで記載されています。
- 4 Transpose** - 半音単位で、最大±11半音までキーボードをトランスポーズできます。Shift ボタンとTranspose ボタンを押すと、キーボードから出力されるMIDIチャンネルを選択できます。[26ページの「トランスポーズ」参照](#)
- 5 Octave +/- ボタン** - キーボードを10オクターブの範囲 (C-2~C7) で上下にトランスポーズします。両方のボタンを同時に押すと、トランスポーズの値が0にリセットされます。[27ページの「Octave ボタン」参照](#)。Shift ボタンを押しながらOctave ボタンを押すと、FL Studioのプリセットを切り替えることができます。



- 6 ノブ** - 4つのモード (Plugin、Mixer Volume、Mixer Pan、Custom) を使用し、パラメータをコントロールします。
- 7 パッド** - Channel Rack、Instrument、Sequencer、Custom モードへのアクセスおよびコントロールを行います。
- 8 ▲▼** - Channel Rack を上下にナビゲートします。
- 9 Scale ボタン** - FLkeyのScaleモードを有効にします。Scale ボタンと共にキーボード上部のテキストラベルに対応する鍵盤を押すことで、スケールとルート音を選択できます。[28ページの「Scaleモード」参照](#)。
- 10 Note Repeat ボタン** - Note Repeatモードを有効にすると、パッドを押すことで設定したNote Repeatレートでノートが連続的にトリガーされます。[24ページの「ノートリピート」参照](#)。
- 11 再生ボタン** - FL Studioの再生/停止をコントロールします。
- 12 録音ボタン** - FL Studioの録音アームを有効にします。録音ボタンを押してから再生ボタンを押すと、録音が始まります。



13 USBタイプBポート

14 Sustain – 6.35mmのサステインペダルのジャック入力。

15 MIDI Out – 外部MIDI機器接続用MIDIタイプA 3.5mmジャックコネクタ。[6ページの「FLkeyをコンピュータに接続する」参照](#)

16 ケンジントロックポート – お使いのFLkeyを固定しセキュリティ対策を施します。

FL Studioとの連携

FLkeyはFL Studioとシームレスに連携するように設計されており、FL Studioによる音楽制作とパフォーマンスを強力にサポートします。また[カスタムモード](#)を使う事で、ワークフローに合わせてFLkeyを好みにカスタマイズすることもできます。

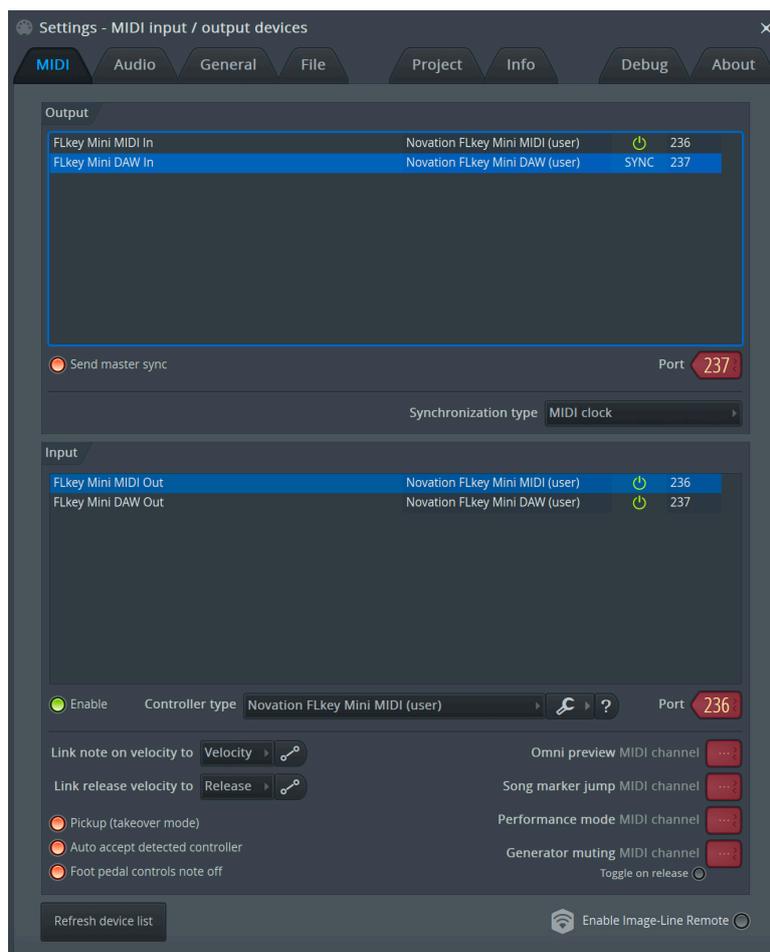
インストール

FLkeyを使用する前に、ファームウェアが最新版であることをご確認下さい。アップデートの手順は、[6ページの「FLkeyをコンピュータに接続する」](#)をご参照ください。

FLkeyは、FL Studioバージョン20.xx以降に対応しています。FLkeyをコンピュータに接続した状態でFL Studioを開くと、FLkeyが自動的に検出され、FL StudioのMIDI設定にセットアップされます。

手動による設定

FL StudioのMIDI Settingsウィンドウ (Options > Settings > MIDI) を開き、以下のスクリーンショットと同様に設定されていることを確認します。MIDI設定は、次ページの手順に従い手動で行うこともできます。



手動による設定方法

1. MIDI Settings画面下部の「Input」パネルにあるFLkey MIDIおよびFLkey DAWの入力ポートを有効にします。
 - FLkey MIDI Out
 - FLkey DAW Out (WindowsではMIDIOUT2と表示)
2. 各項目をクリックし、右下の「Port」アイコンでそれぞれ異なるポート番号を設定します。
 - ポート番号は、未使用の任意の番号を使用できます (0以外)。
 - MIDIポートとDAWポートで異なるポート番号を設定してください。
3. 各項目を選択し、スクリプトを割り当てます。
 - MIDI入力をクリックし、「Controller type」ドロップダウンメニューから「FLkey Mini MIDI」を選択します。
 - DAW入力をクリックし、「Controller type」ドロップダウンメニューから「FLkey Mini DAW」を選択します。
4. MIDI Settings画面上部の「Output」パネルにある出力ポートをクリックし、「Port」番号を入力と一致するように設定します。
 - FLkey MIDI In
 - FLkey DAW In (WindowsではMIDIIN2と表示)
 - 手順3で選択したスクリプトが自動的にリンクします。
5. DAW出力(上部パネル)を選択し、「send master sync」を有効にします。
6. 画面下部にある「Pickup (takeover mode)」を有効にします。
7. 画面左下にある「Refresh device list」をクリックします。

トランスポートコントロール



- ・ 再生▶ ボタンは、FL Studioの再生/停止をコントロールします。ボタンを押すと、再生ヘッドが再生前の開始位置に復帰します。
- ・ 録音● ボタンは、FL Studioの録音ステータスを切り替えます。

プリセットのナビゲーション

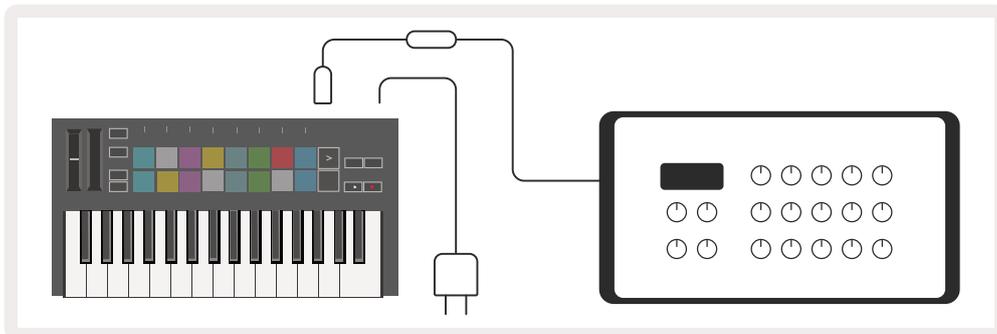
FLkeyは、本体でプリセットの切り替えが可能です。インストゥルメントやプラグインを選択し、Shiftボタンを押しながら「+」または「-」ボタンを押すことで、次/前のプリセットを選択できます。鍵盤/パッドを押すとプリセットを試聴できます。



外部機器との接続

MIDI出力を外部MIDI機器に接続

コンピューターを使わずにFLkeyのMIDI出力を使用する場合は、標準的なUSB電源（5V DC、最小500mA）でFLkeyに電源を供給してください。MIDI出力は、MIDIタイプA 3.5mmジャックから出力されます。MIDIアダプターを別途購入するか、ジャック同士でMIDI接続することも可能です。



サステイン入力

TS1/4インチジャック入力で標準的なサステインペダルを接続できます。プラグインによっては、サステインペダル用の設定がされていません。その場合は、プラグイン内で適切なパラメータをサステインペダルに割り当てる必要があります。

FLkeyのサステイン入力は、ペダルの極性を自動的に検出します。ソステヌートペダル、ソフトペダル、ボリュームペダルには対応しません。

パッドモード

FLkey Miniは16のパッドを備え、モードに応じてFL Studioの様々な要素をコントロールできます。パッドモードを有効にするには：

- Shiftボタンを押し続けるか2度押しすると、上段のパッドが点灯しShiftモードが有効になります。オレンジ色のパッド1～4で、パッドモードを選択できます。選択できるパッドモードは、各パッド上部のテキストラベルに記載されています。
- 使用したいモードのパッドを押すと、パッドモードが有効になります。利用可能なパッドモードは、以下の表の通りです。



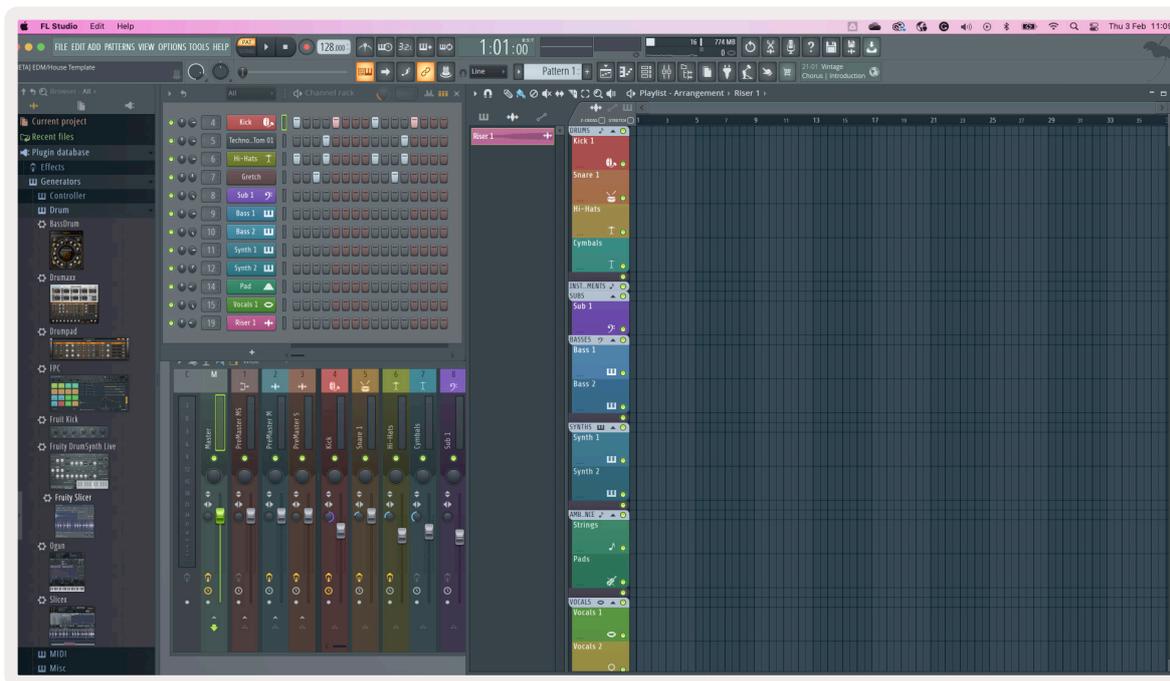
| モード | 内容 |
|--------------|--|
| Channel Rack | Channel Rackの試聴およびチャンネルの選択を行います。 |
| Instrument | 選択中のインストゥルメントをコントロールできます。FPC、Slicex、Fruity Slicerなど一部のインストゥルメントでは、専用のレイアウトを利用できます。 |
| Sequencer | シーケンサーのステップを作成/編集できます。グラフエディター全体の編集も可能です。 |
| Custom | 任意のパラメータを16のパッドに割り当てることができます。 |

Channel Rack

Channel Rackパッドモードを使うと、最大16チャンネルのChannel Rackを同時に演奏できます。それぞれのパッドが各チャンネルのChannel Rackに相当し、パッドを押すことでC5のノートがトリガーされます。パッドは、割り当てられたチャンネルの色に点灯します。

パッドを押すと、FL Studioは該当するチャンネルを選択した後、音声をトリガーします。選択中のChannel Rackに相当するパッドは白く点灯します。FLkeyからは、一度に1つのチャンネルを選択可能です。FL Studioでチャンネルが選択されていない場合は、パッドは白く点灯しません。

パッドは左から右、下段から上段の順に並び、8x2行で表示されます。



Channel Rack▲ または Channel Rack ▲ ボタンを押すと、8つのグループ単位でChannel Rackのパッドレイアウトが前後に切り替わります。

Instrumentパッドモード

Channel RackプラグインをFLkeyからコントロールできるモードです。インストゥルメントモードを有効にするには、Shiftボタンを押しながらFLkeyの「Instrument」ラベル下部のパッドを押します。以下のインストゥルメントレイアウトが利用でき、パッドでMIDIノートを入力できます。

- ・ FPCパッド
- ・ Slicex
- ・ Fruity Slicer
- ・ デフォルトのインストゥルメントレイアウト

デフォルトでは、パッド全体がクロマチック鍵盤のレイアウトで表示されます（下図参照）。Instrumentモード使用時にスケールモードを有効にすると、選択したスケールに含まれる2オクターブ内の8つのMIDIノートが、パッドから出力されます。



Shiftボタンを押しながら「Octave」下部の「+」または「-」ボタンを押すと、インストゥルメントのプリセットを切り替えることができます。

FPC

Instrumentモード時にChannel RackにFPCプラグインを追加すると、FPCドラムパッドをFLkeyから演奏できます。FPCプラグインチャンネルを選択中：

- ・ 左側の4x2のパッドで、FPCパッドの下半分をコントロールします。
- ・ 右側の4x2のパッドで、FPCパッドの上半分をコントロールします。

FPCモードでは、パッドの色がチャンネルの色ではなく、FPC独自の色に点灯します。

Shiftボタンを押しながらChannel Rack ▲またはChannel Rack ▼ ボタンを押すと、FPCのバンクAとバンクBを切り替えることができます。

Slicex

Instrumentモード時にChannel RackにSlicexプラグインを追加すると、SlicexのスライスをFLkeyのパッドでトリガーできます。

Page ◀ (Shift + Channel Rack▲) または Page ▶ (Shift + Channel Rack▼) ボタンで16スライス毎にページを切り替えることができ、それらをパッドでトリガーできます。

Fruity Slicer

Instrumentモード時にChannel RackにFruity Slicerプラグインを追加すると、Fruity SlicerのスライスをFLkeyのパッドでトリガーできます。

Page ◀ (Shift + Channel Rack ▲) または Page ▶ (Shift + Channel Rack ▼) ボタンで16スライス毎にページを切り替えることができ、それらをパッドでトリガーできます。

デフォルトのインストゥルメントレイアウト

専用のレイアウトがサポートされていないその他のプラグインをChannel Rackに追加する場合のレイアウトです。

デフォルトでは、FLkeyのスケールモードを使用しない限り、C5 (MIDIノート84) が左下のパッドに割り当てられます。この設定はFLkeyのScaleモードで変更できます。

Page ◀ ボタンでオクターブが下がり、Page ▶ ボタンでオクターブが上がります。明るく点灯する左上/右下のパッドは、常にルートノート (デフォルトはC) となります。Scaleモード時は、選択したスケールと一致する様にパッドのレイアウトが変更され、左下のパッドがルートノートになります。

Sequencer

Sequencerモードを使うと、FL StudioのChannel Rack内のシーケンサーグリッドをFLkeyでコントロールできます。選択中のインストゥルメントやパターン内のステップを追加/変更可能です。Sequencerモードを有効にするには、Shiftボタンを押し続ける、または2度押ししてからSequencerボタンを押します。上段のパッドがステップ1～8、下段がステップ9～16を示します。

Sequencerモードを有効にすると、パッドが選択中のChannel Rackトラックのステップを表示します。アクティブなステップはトラックの色に明るく点灯し、非アクティブなステップは同じ色で薄く点灯します。パッドと押すことで、ステップのオン/オフを切り替えられます。

Channel Rack ▲および Channel Rack ▼ ボタンを押すと、インストゥルメントを切り替えることができます。パッドは、編集集中のチャンネルの色で点灯します。

以下の図とスクリーンショットは、FL Studioの「Kick」チャンネルのシーケンサーで4つのステップがオンに設定され、それに応じてFLkeyのパッドが点灯している様子を示しています。



再生ボタンを押すと、シーケンサーが再生を開始します。トランスポート再生中は、再生位置のステップ（上図のステップ6）が白く点灯します。再生ボタンを再度押すと、シーケンスの再生が停止します。FLkey Miniのトランスポートセクションで再生を実行する場合、シーケンサーは常にステップ1から再生を開始します。マウスでスタート位置を変更すると、FLkey ではその位置がスタート位置となります。

Page ◀（Shift + Channel Rack▲）または Page ▶（Shift + Channel Rack▼）ボタンを押すと、前/次の16ステップのグループに表示が切り替わります。選択中のステップは、FL StudioのChannel Rack画面で赤い枠として表示されます。

Channel Rack グラフエディター

パッドモードでノブを使用し、シーケンサーのステップパラメータを編集できる機能です。グラフエディターの8つのパラメータが、左から右の順に各ノブに割り当てられます（詳細は下の表を参照）。

複数のパラメータを編集するには、ステップパッドを押したまま目的のノブを続けて操作します。ノブを動かしている間はFL Studio上でグラフエディターが表示され、ノブの動きに応じてパラメータが変更されます。

| ノブ | グラフエディターのパラメータ |
|------|------------------|
| ノブ 1 | Note Pitch |
| ノブ 2 | Velocity |
| ノブ 3 | Release Velocity |
| ノブ 4 | Fine Pitch |
| ノブ 5 | パンニング |
| ノブ 6 | Mod X |
| ノブ 7 | Mod Y |
| ノブ 8 | Shift |

カスタムパッドモード

任意のパラメータをパッドに割り当て、自由にコントロールできるモードです。[Custom モード](#)でパッドが送信するメッセージは、[Novation Components](#)で変更できます。

ノブモード

FLkeyは8つのノブを備え、モードに応じてFL Studioの様々なパラメータをコントロールできます。ノブモードを有効にするには：

1. Shiftボタンを押し続けるか2度押しすると、上段のパッドが点灯しShiftモードが有効になります。青緑色のパッド5～8で、ノブモードを選択します。各パッド上部のテキストラベルは、選択できるノブモードを示しています。
2. 使用したいノブモードのパッドを押すと、ノブモードが有効になります。利用可能なノブモードは、以下の表の通りです。



FL StudioのMIDI Settings画面で「Pickup (takeover mode)」を有効にすると、ノブの値とパラメータの現在値が一致するまで値が変更されなくなり、パラメータ値の予期せぬジャンプを防止できます。

| モード | 内容 |
|--------------|--|
| Plugin | 選択中のプラグイン内の8つのパラメータをコントロールします。 |
| Mixer Volume | ミキサーのフェーダーが8つずつにグループ (バンク) 分けされ、ノブに割り当てられます。 |
| Mixer Pan | ミキサーのパンニングが8つずつにグループ (バンク) 分けされ、ノブに割り当てられます。 |
| Custom | 任意のパラメータを8つのノブに割り当てることができます。 |

バンクの切り替え

Mixer VolumeおよびMixer Panのノブモードでは、8つずつのグループ単位でバンクを切り替えられます。

Shiftを押しながらScaleまたはNote Repeatを押すと、前/次の8トラックのグループを選択できます。FL Studioの画面上では、選択中のバンクが赤く選択されます。

Plugin

Pluginモードでは、FLkeyのノブで選択中のプラグインの8つのパラメータをコントロールできます。ほとんどのFL Studio純正インストゥルメントプラグインは、FLkeyのノブモードに対応しています。



注意：FL Studio純正プラグインでFLkeyに割り当てられているパラメータは変更できません。サードパーティー製プラグインでノブモードを使用する場合は、カスタムノブモードを使う事でマッピングを自由に作成できます。

Mixer Volume

Mixer Volumeモードを使うと、FLkeyの8つのノブでFL Studioのミキサーフェーダーを操作できます。ミキサートラックのボリュームは、8つずつにグループ化され、ページを切り替えることで目的のトラックにアクセスできます。



Mixer Pan

Mixer Panモードを使うと、FLkeyの8つのノブでFL Studioミキサーのパンニングを変更できます。Mixerのパンニングは8つずつにグループ化され、ページを切り替えることで目的のトラックにアクセスできます。



Custom

任意のパラメータをノブに割り当て、最大8つのパラメータを同時にコントロールできるモードです。ノブが送信するメッセージは、Novation [Components](#) で変更できます。



FL StudioのパラメータをFLkeyのノブにマッピングするには：

1. FL Studioで目的のパラメータを右クリックします。
2. 2つのリモートコントロールモードから、いずれかのモードを選択します（以下参照）。
3. ノブを動かすと、そのノブにパラメータが割り当てられます。

選択できるリモートコントロールモード：

- ・ Link to controller - パラメータがFL Studioで選択されているかに関わらず、パラメータとノブが一対一でリンクされます。このモードはプロジェクト単位で動作します。
- ・ Override global link - FL Studioの「per-project-link」機能を有効にしない限り、すべてのプロジェクトでリンクが有効になります。FL Studioでフォーカスされている画面内のパラメータがコントロールされるため、1つのノブで複数のパラメータをコントロールできるのが特徴です。

Channel Rackの選択項目の確認

FL StudioでChannel Rack表示中に、いずれかのパッドレイアウトモードでShiftボタンを長押しすると、現在の選択項目が表示されます。チャンネルバンクや現在のノブやチャンネルの選択状況を確認できます。Mixer Volume/Panモード時は、選択中のミキサーバンクが表示されます。

ループ録音（初回起動時）

ループ録音のオン/オフは、FLkeyでは変更できません。ループ録音は、FLkeyをFL Studioに最初に接続した際に有効になります。ループ再生がオンの場合、録音中の選択パターンは長さが延長されることなく常にループします。

ループ録音を無効にするには、FL StudioのツールバーにあるRecording Loopアイコン（鍵盤と循環マーク）をクリックします。ループ録音を無効にすると、FLkeyをコンピュータに接続し直してもループ録音設定は無効のままとなります。



ループ録音オフ



ループ録音オン

FL Studio ウィンドウのフォーカス表示

FLkeyの操作の中には、操作に応じてFL Studio ウィンドウのフォーカスが変更されるものがあります。以下の操作は、Channel Rackをフォーカスします：

- ・ パッドモード
 - Channel Rack
 - シーケンサー
- ・ シーケンサーのページを左右に切り替え
- ・ Channel Rackでのチャンネル選択

以下の操作は、Mixerをフォーカスします：

- ・ ノブモード
 - Mixer Volume
 - Mixer Pan
- ・ Mixer VolumeまたはMixer Panの変更
- ・ ミキサーのバンク切り替え

以下の操作は、選択チャンネルのプラグインをフォーカスします：

- ・ Pluginノブモードでパラメータを変更

ノートリピート

Note Repeatは、パッドを押すことでノート（特にドラムヒットで有効）を連続的にトリガーできる機能です。設定されたテンポに同期した様々なレートで演奏できます。

FLkeyをFL Studioに接続した場合、Note Repeat機能は再生状態に関わらず常にDAWのテンポに追従します。デフォルトではFL Studioのマスターシンク（MIDI Settings画面）が有効であるため、Note RepeatはFL Studioのグリッドのタイミングでトリガーされます。マスターシンクを無効にすると、パッドを押したタイミングでNote Repeatのトリガーが開始されます。

Note Repeatを使用する

Note Repeatボタンを押すと、パッドがNote Repeatモードに切り替わります。デフォルトではFL StudioからFLkeyにMIDIクロックが送信されるため、Note RepeatはFL Studioのテンポに追従します。いずれかのパッドを押すと、設定されたレートとテンポでトリガーが繰り返されます。

Sequencerモードでは、パッドがシーケンサーの動作に割り当てられるため、Note Repeatは機能しません。



レートを変更する

レートを変更するには、Note Repeatボタンを押しながら（またはダブルタップしてラッチ）、1/4、1/8、1/16、1/32、Tripletと記載された鍵盤を押します。Tripletは、選択中のレートを三連符でトリガーします。たとえば、レートが1/8のときにTripletを有効にすると、レートは1/8tとなります。

Note Repeatボタンを長押し、またはラッチした状態で、レートを変更しながらパッドを演奏することも可能です。Note Repeatボタンを長押しまたはラッチすると、ボタンが点滅し、鍵盤でレートとタップテンポをコントロールできることを示します。

テンポを設定する

Note Repeat ボタンを長押しまたはラッチした状態で、一番高い鍵盤を目的のテンポのタイミングでタップします。

ノート/ドラムヒットのベロシティを変更する

Note Repeat のベロシティは、パッドを押す力でコントロールできます。ベロシティの初期値は、最初にパッドを押した強さで決まります。パッドを押し続けながら、押す力を強めるとベロシティが大きくなり、弱めるとベロシティが小さくなります。ベロシティは、設定で無効にできます。詳細は [33 ページの「設定」](#) をご参照ください。

最初にパッドを押してから押す力を弱めた場合は、ベロシティは小さくならず初期値を維持します。押す力を強めてベロシティが初期値を超えた場合にのみ、ベロシティが変更されます。

スタンドアローン機能

トランスポーズ

トランスポーズ機能を使うと、FLkey Miniの鍵盤の音程を半音単位に1～11段階で移調できます。異なるキーで演奏したり、アイデアを簡単にトランスポーズできる便利な機能です。

鍵盤をトランスポーズするには、Transpose ボタンを押しながら、またはダブルタップしてラッチすると、4つのパッドが白く点灯します。中央のパッドが白く点灯した場合は、鍵盤がトランスポーズ無しの標準ピッチであることを示します。



鍵盤のトランスポーズは以下のいずれかの方法で設定できます：

- ・ トランスポーズモードを有効にした状態でパッド1～11を押すと、鍵盤が1～11段階で半音ずつトランスポーズされます。緑色に点灯するパッドの数は、トランスポーズの度合い（半音の数）を示します。下図は6つのパッドが緑に点灯し、+6半音のトランスポーズが適用されていることを示しています。
- ・ Transpose ボタンを押しながら Octave - +/- ボタンを押すと、下方向へのトランスポーズでパッドが赤く点灯します。
- ・ Transpose ボタンをラッチ（ダブルタップ）して鍵盤を押します。



Octave ボタン

Octave ボタンを押すと、鍵盤のオクターブが1つずつ増減します。オクターブは、C-2～C7の範囲で変更できます。



Octaveの +/- ボタンを同時に押すと、オクターブがリセットされます。鍵盤のトランスポーズを0にリセットするには、Octave +/- ボタンを同時に押すか、12～16のいずれかのパッドを押します。

Shift ボタンを押しながら Octave ボタンを押すと、現在選択されている FL Studio 純正プラグインの次/前のプリセットに切り替えることができます。

Transpose ボタンを押しながら Octave +/- ボタンを押すと、鍵盤が半音単位に上下にトランスポーズされます。半音上がるとパッドが緑に、半音下がると赤く点灯します。

Scaleモード

Scaleモードでは、選択したスケール内のノートだけを演奏するようキーボード全体を設定できます。これにより、音を外すことなくキーボードを演奏することが可能です。Scaleボタンを押すとボタンが点灯し、Scaleモードが有効になります。

スケールには、ルート音とスケールモードの2つの要素があります。ルート音を変更するには、Scaleボタンを押しながら（またはダブルタップでラッチ）、FLkeyの最も低いオクターブでルート音に設定したい鍵盤を押します。



Scaleモードを変更するには、Scaleボタンを押しながら（またはダブルタップでラッチ）、鍵盤上部にテキストラベルで記載されるモードのいずれかの鍵盤を押します。モードは以下の4つから選択できます。

- ・ マイナー
- ・ メジャー
- ・ ドリアン
- ・ フリュギア



Shift ボタン

Shift ボタンを使うと、FLkeyのフロントパネルに記載される機能にアクセスできます。Shift ボタンを長押し（または[31 ページの「ページのラッチ」](#)参照）すると、以下の機能を利用できます。

- Channel (Transpose ボタン) - Shift ボタンと Channel ボタンを長押し（またはラッチ）すると、FLkey の MIDI チャンネルを変更できます。現在の MIDI チャンネルは、最も明るい赤色に点灯します。パッド 1～16 を押すと、MIDI チャンネルを変更できます。
- Preset (Octave ボタン) - Shift ボタンを押しながら Octave +/- ボタンを押すと、FL Studio 純正プラグインのプリセットを切り替えることができます。ボタンの点灯は、次/前のプリセットが選択できることを示します。
- Page ◀▶ (Channel Rack▲▼ ボタン) – FL Studio のページを左右に切り替えます。
- Mixer Track - Mixer Track ◀▶ ボタン (Scale/Note Repeat) を押すと、FL Studio のミキサートラックが左右に移動します。

ページのラッチ

各モードのページをラッチすると、ページを開いたままにでき、各ページに片手でアクセスできます。ラッチできるページは以下の通りです：

- ・ Scale、Note Repeat のコントロール
- ・ Transpose 設定
- ・ ノートリピート
- ・ シフト機能 - ノブコントロールの選択やMIDIチャンネルの変更

コントロールページ

各コントロールボタンページ (Scale/Note Repeat) を2度押しすると、パッドやノブのコントロールモードが表示されたままになります。通常の操作に戻るには、各コントロールボタンページボタンを再び押します。

Transposeのコントロール

Transposeをラッチするには、Transposeボタンを2度押しします。Transposeのコントロールが開き、パッドからアクセスできるようになります。Transposeボタンが点滅し、Transposeがラッチされていることを示します。通常の動作に戻る、またはTransposeのラッチを解除するには、TransposeボタンまたはShiftボタンを押します。

Shiftのコントロール

Shift機能をラッチするには、shiftボタンを2度押しします。Shift機能がラッチされ、パッドでアクセスできるようになります。このときShiftボタンが点灯し、Shift機能がラッチされていることを示します。Shift機能のラッチを解除するには、Shiftボタンを押します。Shift機能をラッチした状態でTransposeボタンを2度押しすると、MIDIチャンネルのコントロールをラッチできます。MIDIチャンネルコントロールのラッチを解除するには、TransposeボタンまたはShiftボタンを押します。

カスタムモードおよび Components

カスタムモードは、各コントロールセクションを操作するための独自のMIDIテンプレートを作成できる機能です。テンプレートはNovation Componentsで作成し、FLkeyに送信できます。

Componentsを使用するには、Web MIDI対応ブラウザ（Google ChromeまたはOperaを推奨）でcomponents.novationmusic.comにアクセスします。もしくはNovationのアカウントページから、Componentsのスタンドアロン版をダウンロードしてください。

カスタムモード

Novation Componentsで設定を行うと、FLkeyのノブおよびパッドからカスタムメッセージを送信できます。これらのカスタムメッセージ設定は、カスタムモードと呼ばれます。カスタムモードは、Shiftボタンを押しながらCustomパッドを押すことで有効にできます。

何も設定しない場合でも、カスタムノブモードはデフォルト設定のメッセージを送信します。FL Studioの「Multilink to Controllers」機能を用いて、FLkeyのノブをFL Studioのパラメータに割り当てることも可能です。

スタンドアロンで使用する場合、Channel Rack、Instrument、Sequencer、Plugin、Mixer Volume、Mixer Panモードは使用できません。

ノブ

FLkeyでは、1つのカスタムノブモードを利用できます。カスタムノブモードにアクセスするには、Shiftボタンを押したままノブモード（上段右4つのパッド）のCustomパッドを押します。Componentsを使用すると、任意のCC番号をノブに設定することができます。

何も設定しない場合でも、カスタムノブモードはデフォルト設定のメッセージを送信します。FL Studioの「Multilink to Controllers」機能を用いて、FLkeyのノブをFL Studioのパラメータに割り当てることも可能です。

パッド

FLkeyでは、1つのカスタムノブモードを利用できます。カスタムノブモードにアクセスするには、Shiftボタンを押したままパッドモード（上段左4つのパッド）のCustomパッドを押します。Componentsを使用すると、任意のMIDIノートやプログラムチェンジメッセージ、CC（コントロールチェンジ）メッセージをノブに設定することができます。

設定

設定ページにアクセスするには、Shift ボタンを押したまま FLkey Mini の電源を投入します。設定完了後、再生 ▶ ボタンを押すと、FLkey は通常の動作に復帰します。変更した設定は、電源をオフにしてもリセットされません。FLkey Mini の設定ページでは、下図の様にパッドが点灯します。



お使いの環境に合わせて、FLkey のすべての LED の明るさを調整できます。たとえば、明るい環境で作業する場合は LED を明るめに点灯させることができます。

設定ページで Octave ▲▼ ボタンを押すと、LED の輝度を変更できます。

パッドのベロシティ

パッドベロシティ機能のオン/オフを切り替えるには、設定ページでオレンジ色のパッド（左から2番目）を押します。パッドが暗く点灯する場合、ベロシティ出力は127に固定されます。パッドが明るく点灯する場合、ベロシティはフルレンジで出力されます。

MIDI クロック出力

FLkey の MIDI 出力は、MIDI クロック出力のオン/オフを選択できます。ドラムマシンやシンセ、シーケンサーなどの外部 MIDI 機器を FLkey Mini でコントロールする場合、MIDI クロック出力を無効にすることで、不要なテンポ/クロック信号が外部機器に送信されることを防ぐことができます。

MIDI クロック出力のオン/オフを切り替えるには、ピンク色のパッド（左から6番目）を押します。暗く点灯しているとき、MIDI クロック出力は無効になります。明るく点灯しているとき、MIDI 出力から MIDI クロック信号が出力されます。

ベガスモード

ベガスモードはデフォルトでオフに設定されています。FLkey を操作しない状態が5分間続くと、ベガスモードが開始されます。パッドの点灯がスクロールし、任意のパッドやボタン、鍵盤を押すまで継続されます。ベガスモードのオン/オフを切り替えるには、青いパッド（左から7番目）を押します。パッドが明るく点灯しているとき、ベガスモードはオンに設定されます。

イージースタート

イージースタートモードのオン/オフを設定できます。FLkey 初回使用時は、イージースタートがオンに設定されています。イージースタートのオン/オフを切り替えるには、設定ページで黄色のパッド（一番右）を押します。このパッドが暗く点灯していると、FLkey Mini がコンピュータに大容量記憶装置としてマウントされなくなります。

重量および寸法

| | |
|----|---------------------------|
| 重量 | 0.69 kg |
| 高さ | 31 mm (ノブキャップを含む場合、41 mm) |
| 幅 | 330 mm |
| 奥行 | 172 mm |

トラブルシューティング

FLkey を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、以下をご参照ください。

novationmusic.com/get-started

FLkey に関するご質問やご相談は、ヘルプセンターをご利用ください。以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただけます。

support.novationmusic.com

商標

Novationの商標はFocusrite Audio Engineering Ltd.が所有しています。このマニュアルに記載されているその他すべてのブランド名、製品名、会社名、およびその他の商標登録または商標は、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

Novationは、ここに記載されている情報が正確で完全であることを保証するために可能なすべての措置を講じています。いかなる場合でも、Novationは、本マニュアルまたは記載されている装置の使用に起因する装置、第三者または装置の所有者に対する損失または損害についていかなる責任も負いません。本書に記載されている情報は、予告なしに変更することがあります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

著作権および法定通知

Novationは、Focusrite Audio Engineering Limited の登録商標です。FLkeyは、Focusrite Audio Engineering Plcの商標です。2022 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。

Novation

Focusrite Audio Engineering Ltd.の一部門

Windsor House, Turnpike Road

Cressex Business Park , High Wycombe

Buckinghamshire , HP12 3FX

United Kingdom

電話: +44 1494 462246

ファックス: +44 1494 459920

e-mail : sales@novationmusic.com

ウェブサイト : www.novationmusic.com

警告 :

本製品を通常に動作させている場合にも、強力な静電放電 (ESD) の影響を受ける可能性があります。このような場合には、USB 接続を一度解除し、再度接続することで再起動をお試しください。通常の動作が回復します。